

平成22年度

吉原小だより



京丹後市立吉原小学校 平成22年7月9日 第5号

自ら課題を作り みんなで解決する

— 4年生国語科授業研究から —

松井さんの見た景色はどんな景色だったのだろう

どうして松井さんは、シャボン玉のはじけるような声をきいたのだろう

・・・自分たちで考えた学習の課題の中から・・・

4年生国語科授業研究「白いぼうし」を行いました。

子どもたちは、素敵なお話を読んだ時に、素直に心を動かし、物語に対する感想を持ちます。そして、自分の心に留めておくだけではなく、みんなで話し合い、交流したくなることがあります。

4年生ではみんなで話し合いたいこと・みんなで解決したいことを出し合い、自ら課題を設定し、課題を解決する授業に取り組みました。ここで4年生の子どもたちは、値打ちのある課題を設定する素晴らしさを明らかにしました。これまでの学習の中から、みんなで考え合うのに大切なことを見抜く力が付いてきている子どもたち。何を話し合えば、物語のテーマ・主題に迫ることができるのか考えることができています。

何を大切にすべきなのかを考えられるということは、本年度の「自分で考えて行動できる子」にもつながります。「今、何をやる時なのか」自分で考え判断できる子どもたちであれば、自分の行動にも責任を持つことができます。子どもたち一人一人が、自律した人になれるよう今後も教育活動を進めていきます。



「吉原っ子かしこい隊」

- ① 下敷きを使って書こう！
- ② 鉛筆を削って持ってこよう！
- ③ ノート展 7月8日(木) と 7月15日(木) (各学年2冊出展)

子どもたちが、学習に集中できる環境を整えようということで、「吉原っ子かしこい隊」と銘打って取組を進めています。下敷き・鉛筆については、今更と考えられる方もおられるとは思いますが、子どもたちの環境を整えることで、子どもたちの学習に対する意欲も変わってきます。当たり前のことが当たり前でできる、そして気持ちよくできることによって、学習に集中できるようになってきます。ノート展をすることにより、友達のよさを自分に生かす取組も進めています(見やすい・美しいノートばかりで大変参考になりました)。ご家庭でも子どもたちが気持ちよく取り組み、定着が図れるよう、今後ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

AED(自動体外式除細動器)が設置！！

AEDは、救急車がくるまでに行える心肺蘇生法と同じ、緊急時の応急手当のひとつです。突然、胸の痛みを訴えて意識を失った人の心臓は、急な不整脈(心室細動)である可能性が高く、この細動を取り除き、正常な状態に戻すことができる医療機器をAED(自動体外式除細動器)といいます。

7月より教育委員会から配備していただきました。緊急時に即座に活用できるよう職員室に設置しています。AED設置校とわかるよう標識を玄関口等にも掲示しています。

おじいさん・おばあさん ありがとうございました。 祖父母参加・交流お世話になりました。

6月25日(金)梅雨に入り、天候が心配されましたが、予定通り祖父母参観・交流を行うことができました。お孫さんがおられない方にもたくさん参加していただきました。地域で子どもたちを見守っていただいていること感謝しております。

特に交流の中では、上田邦子さん・足立宏子さん(食生活改善推進委員)「昔のおやつ作り(1年生)」、沖田清子さん(網野在住・学校支援ボランティア)「昔の遊び(2年生)」、平井進さん(丹波在住)「絵手紙(3年生)」、山本雄さん(菅在住)「竹けんだま・起き上がりこぼし(4年生)」、上田英志さん(弥栄在住・学校支援ボランティア)「しめ縄作り(5年生)」、荻野悦治郎さんを中心とした峰山ゲートボール協会の方々「ゲートボール(6年生)」にお世話になり、子どもたちは心と体を通して学ぶことができました。

参加されたすべてのおじいさん・おばあさんから、時間の立つのが忘れるぐらい、集中して沢山のことを学ばせていただきました。そして、心地よいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

今後も未来を受け継ぐ子どもたちに、いろいろなことを教えていただくようよろしくお願いいたします。

参加いただいた方の感想の中から・・・

- ★ 徐々に楽しい時間ができました。新しいおやつとの出会いに、孫もうれしそうに作り方を教えてねと、うれしい注文でした。
- ★ 孫の学校での様子が分かりよかったです。「昔の遊び」少し分からないところがあったけど、先生に教えてもらい、納得できました。楽しく遊べました。
- ★ 5年生は、難しいしめ縄づくりを一生懸命頑張っていたよかったです。
- ★ 楽しいおやつ作り、美味しかったです。元気いっぱい算数の授業で、こちらも勉強できました。
- ★ 学級討論会で、「物語は本で読むのと映画で見るのと」について肯定と否定のよさをはっきりとわかりやすく言っていた。司会も大役で、できるだろうかと思って心配していたけどよくやってくれた。

